

# 消防団に関する理解の促進について

# これまで実施した消防団の全国的な広報について①

- 消防団への加入にあたっては、住民が消防団の存在を認知し、興味を持ち、加入意欲をもってもらわなければならない。
- そのためには前提として、消防団全体のイメージアップや、社会全体で消防団を応援していこうという雰囲気醸成することが重要となる。
- そのため、消防団に関する広報は、①住民の加入意欲を促進する広報と②消防団自体のイメージを向上させる広報を充実させていく必要がある。
- 現在も、①については消防庁の消防団オフィシャルウェブサイトの各種コンテンツ、入団促進キャンペーン、PRムービーコンテスト、各市町村の広報誌等によるPRなどにより、②については総務大臣感謝状・消防庁長官表彰をはじめとした各種表彰、日本消防協会による消防団応援の店及び消防団応援団の取組を行っており、一定の効果を得ているものと考えている。
- 従来の取組に加え、今後消防団の加入促進やイメージ向上のため、どのような広報をしていくべきか。

## これまで実施した消防団の全国的な広報について②

取組内容	主体	概要	取組内容	主体	概要
消防団オフィシャルウェブサイト	消防庁	3 ページ	消防団応援の店	日本消防協会	1 2 ページ
消防団員インタビューの紹介	消防庁	4 ページ	おはよう！ニッポン全国消防団 (ラジオ番組)	日本消防協会	1 3 ページ
消防団員入団促進 キャンペーン	消防庁	5 ページ	地域防災力の充実強化と消防団 ～新時代に対応した 消防団運営～	日本消防協会	1 4 ページ
消防団充実強化取組事例	消防庁	6 ページ	地域防災に関する総合情報誌 「地域防災」	日本防 火・防災 協会	1 5 ページ
消防団PRムービー コンテスト	消防庁	7 ページ			
全国消防団員意見発表会	消防庁	8 ページ			
消防団関係の主な表彰	消防庁等	9 ページ～ 1 0 ページ			
女性・若者等消防団加入促進 支援事業	消防庁	1 1 ページ			

# (参考) 消防団オフィシャルウェブサイトのリニューアル

消防団活動の広報のため、令和2年度に消防団オフィシャルウェブサイトのリニューアルを実施

消防団 自らの地域は自らで守る

FDMA 総務省消防庁

▼ 本文へ

文字サイズ 標準 大

キーワード検索

消防団ホーム | 消防団とは | 消防団の活動 | 消防団に入るには | 消防団データ集 | 消防団等充実強化取組 | 消防団Q&A

消防団員募集  
あなたのチカラを  
消防団に。

▶ 消防団に入るには

消防団への入団フロー

- お近くの消防団を探す  
[消防団一覧をみる](#)
- 入りたい消防団へ問い合わせる  
電話・メールなどで  
お問い合わせください。
- あなたも消防団員に！  
案内に従い、入団手続きが完了すれば、  
晴れて「入団」となります。



お知らせ

令和3年03月30日 [消防団オフィシャルウェブサイトを更新しました。](#)

● [お知らせ一覧をみる](#)

消防団 オフィシャルウェブサイト  
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/>

# (参考) 消防団員インタビューの紹介

消防団員へのインタビューを通して、消防団でのやりがいや魅力、活動の中で得たものなど、団員の生の声を発信。



## 消防団員



栃木県 益子町消防団  
久保 敏昭さん (40代)



愛媛県 松山市消防団  
芳野 良輔さん (20代)



福岡県 福岡市水上消防団  
野上 隆昌さん (30代)

## 女性消防団員



青森県 弘前市消防団本部分 女性消防団  
大塚 えりかさん (30代)



和歌山県 和歌山市消防団  
山本 清美さん (50代)



神奈川県 川崎市幸消防団  
那須野 純花さん (20代)

## ○学生消防団員へのインタビュー

### 朝倉 忞哉さん 愛知県 安城市消防団 インタビュー

消防団は素晴らしい組織であることを、多くの人に知ってほしい！！

朝倉 忞哉さん 学生 愛知県安城市消防団 団員

不安ばかりで入った消防団ですが、今では消防団が素晴らしい組織だと思っています。学業をおろそかにせず、楽しく消防団活動をしています。



VOICE 学校に通いながらも全然大丈夫！

私の分団は私生活優先、学業と消防団活動の両立が可能です。忙しい時期はありますが、重要な予定がある時は無理して出席しなくても良いと言われていました。でも、私自身が団活動を優先しちゃっていますが(笑)



VOICE 入団のきっかけ

18歳で入団しました。当時、通信教育で学校に行かない日は、ずっとPCゲームばかりやっていました。その光景を見兼ねた母が、知り合いの消防団員を連れてきて、消防団の話をして、魅力を感じ入団しました。今では、消防団活動に大きなやりがいを感じ、胸を張って参加しています。

消防団員の紹介 | 消防団 オフィシャルウェブサイト  
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/about/interview/>

# (参考) 消防団員入団促進キャンペーン

## 1. 趣旨

毎年度、1月から3月までの間を「消防団員入団促進キャンペーン」期間と位置づけ、地方公共団体等と連携し、消防団員の入団促進に係る啓発、広報の全国的な展開を図る。

## 2. 令和3年1月～3月における取組（概要）

### ○ 消防団員入団促進全般

ポスター・リーフレット等を作成し、ファミリーレストラン等で掲示・配付。

### ○ 女性の入団促進

女性消防団員に着目したポスター・リーフレット等を作成し、掲示・配付。

### ○ 国民に対して消防団を広く周知

入団促進PRに関する動画等を対象とする消防団PRムービーコンテストの実施 など

### ○ 被雇用者の入団促進

企業と消防団員の関わりに着目したリーフレット等を作成し、掲示・配付。

### ○ 学生の入団促進

学生消防団員に着目したポスター・リーフレット等を作成し、掲示・配付。



消防団員の入団促進用ポスター



学生消防団員の入団促進用リーフレット



企業向け消防団員 入団促進用リーフレット

# (参考) 消防団充実強化取組事例の紹介

## 1. 趣旨

消防団の充実強化を図るため、全国の消防団の取組事例を収集しウェブサイトにて情報提供している。

## 2. 取組事例

### ○ 富山県 高岡市 「消防団訓練指導リーダー研修の実施」

専門的な知識と技能をもって指導にあたる消防団員を養成するために「消防団訓練指導リーダー研修」を実施。修了者は習得した知識・技能を共有し、分団の組織強化と活性化を図る。



### ○ 青森県 青森市 「消防団員入団促進プロジェクトチームの設立」

固定概念に捉われない自由な発想で、新たな入団促進を実施することを目的に、若い団員を中心とした「青森市消防団入団促進プロジェクトチーム」を設立。



### ○ 香川県 善通寺市 「女性消防団による防災普及啓発活動」

善通寺市女性消防団は、地域における防災意識の向上を目的として、市民を対象とした防災・防火・応急手当の普及啓発や、児童を対象とした防災普及啓発劇を実施している。



### ○ 埼玉県 さいたま市 「消防団体験フェアを開催しました」

消防団への入団を促進するため「消防団体験フェア」を開催。来場者が消防団の活動を体験することに重点を置き、消防活動をより深く理解してもらえるイベントとなった。



消防団充実強化取組事例 | 消防団 オフィシャルウェブサイト  
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/torikumi-jirei/>

# (参考) 消防団PRムービーコンテスト

我が街の消防団をPRする動画を募集し、消防団の認知度向上を図り、加入促進につなげる。応募された作品から、最優秀賞、優秀賞を決定し、消防庁長官が表彰。

## <受賞作品 (令和2年6月表彰)>

【最優秀賞】

「地域で活躍！女性消防団員」金沢市消防局(石川県)



【優秀賞】

「高森町消防団広報番組「消防24時」～活動の紹介～」高森町役場(長野県)



【優秀賞】

「消防団員の入団促進キャンペーン」(徳島県)



【優秀賞】

「HEROになりたくて」鹿児島市消防団(鹿児島県)



# (参考) 全国消防団員意見発表会の開催

## ○ 概要等

全国から選出された各地で活躍する消防団員が、消防団活動に関する経験や課題等を発表する会であり、発表内容を5名の審査員が審査し、成績優秀者を決定の上、消防庁長官が表彰する。



## ○ 令和元年度全国消防団員意見発表会の発表者（敬称略）

（令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

藤原 神奈（盛岡市消防団）	柴田 久史（舞鶴市西消防団）
野徳 貴子（大崎市消防団）	清水 亜由美（尼崎市消防団）
野尻 和彦（舟形町消防団）	安達 由紀（鳥取市消防団）
佐藤 睦美（北茨城市消防団）	中川 秀兵（高幡消防組合須崎消防団）
渋谷 章弘（高岡市消防団）	江口 悦子（佐賀市消防団）
橘 博史（南アルプス市消防団）	福井 由美子（大村市消防団）

## ○ 審査員

審査員長	塩野 裕（日本商工会議所総務部長）
審査員	青山 佳世（フリーアナウンサー、第28次消防審議会委員）
審査員	神村 登紀恵（広島市西消防団事務局女性消防隊隊長、消防庁消防団等充実強化アドバイザー）
審査員	蝶野 正洋（プロレスラー、消防応援団、（一社）ニューワールドアワーズスポーツ救命協会代表理事）
審査員	三宅 有子（NHK制作局第3制作ユニット（福祉）チーフ・プロデューサー）

# (参考) 消防団関係の表彰について①

○ 消防庁は、消防団等の社会的評価を高めるため、以下の表彰等を実施している。

○ 総務大臣感謝状(平成25年度～)令和2年度:47団体  
消防団員の確保等に積極的に取り組む消防団(全ての消防団員、女性の消防団員、学生の消防団員が増加した上位の消防団)に対し、総務大臣より感謝状を贈呈。

○ 防災功労者消防庁長官表彰(平成16年度～)令和2年度:9団体  
自然災害や大規模事故等の現場において、顕著な活動実績が認められる消防団等に対し、消防庁長官が表彰。

○ 消防団等地域活動表彰(平成13年度～)令和2年度:18団体、20事業所  
地域住民の安全の保持、向上に顕著な功績があり、全国の模範となる消防団又は団員確保について特に力を入れている消防団、及び消防団活動に特に深い理解や協力を示し、消防団員である従業員を雇用しているなどの事業所等に対し、消防庁長官が表彰。

○ 防災まちづくり大賞(平成8年度～)令和2年度:17団体  
地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施するもの。阪神・淡路大震災を契機に創設。

○ 優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)(昭和29年度～)  
令和2年度:総務大臣賞21クラブ、指導者19人、消防庁長官賞42クラブ

少年消防クラブ員や指導者の意識高揚とクラブ活動の活性化を図り、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的として、活動が活発なクラブ等を表彰。



## (参考) 消防団関係の表彰について②

○ 日本消防協会などにおいても、消防団等の社会的評価を高めるため、以下の表彰等を実施している。

○ 日本消防協会定例表彰（昭和24年度～）令和2年度：151団体、11,033名

### 【表彰内容】

令和2年度受賞団体者数

- ・ 特別表彰「まとい」……………10団
- ・ 特別功労章……………10名
- ・ 優良消防団（表彰旗）……………37団
- ・ 優良消防団（竿頭綬）……………90団
- ・ 功績章……………950名
- ・ 精績章……………2,275名
- ・ 勤続章……………7,783名
- ・ 優良婦人消防隊（表彰旗）……………14隊
- ・ 優良婦人消防隊員（功績章）……………10名
- ・ 永年勤続職員表彰……………5名



第71回定例表彰式（平成31年3月）

○ 「防火防災に関する」作文コンクール（平成12年度～）

令和2年度：最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作7名

生活協同組合全日本消防人共済会において、毎年全国の中学生を対象として「防火防災に関する」作文コンクールを開催。

「みんなと一緒に地域を守る消防団」を作文のテーマとし、佳作以上の10作品は入賞作品集として全国の消防関係機関、市町村役場、支部推薦中学校等へ配布される。

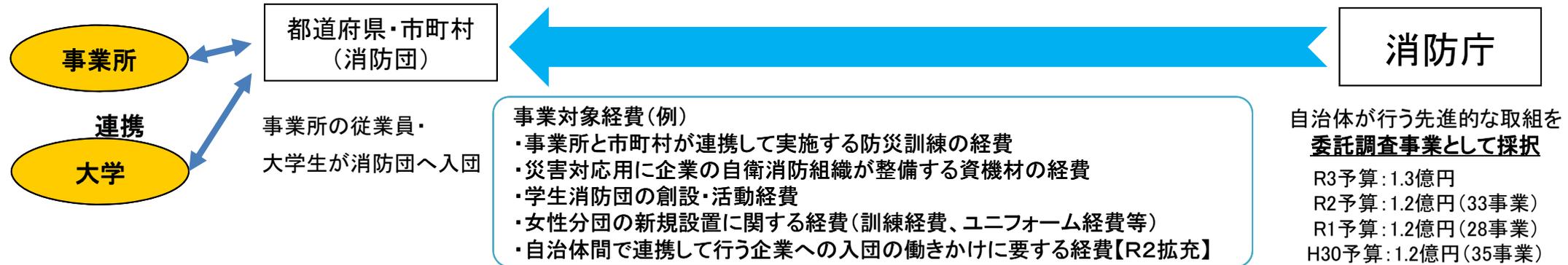


特別表彰「まとい」

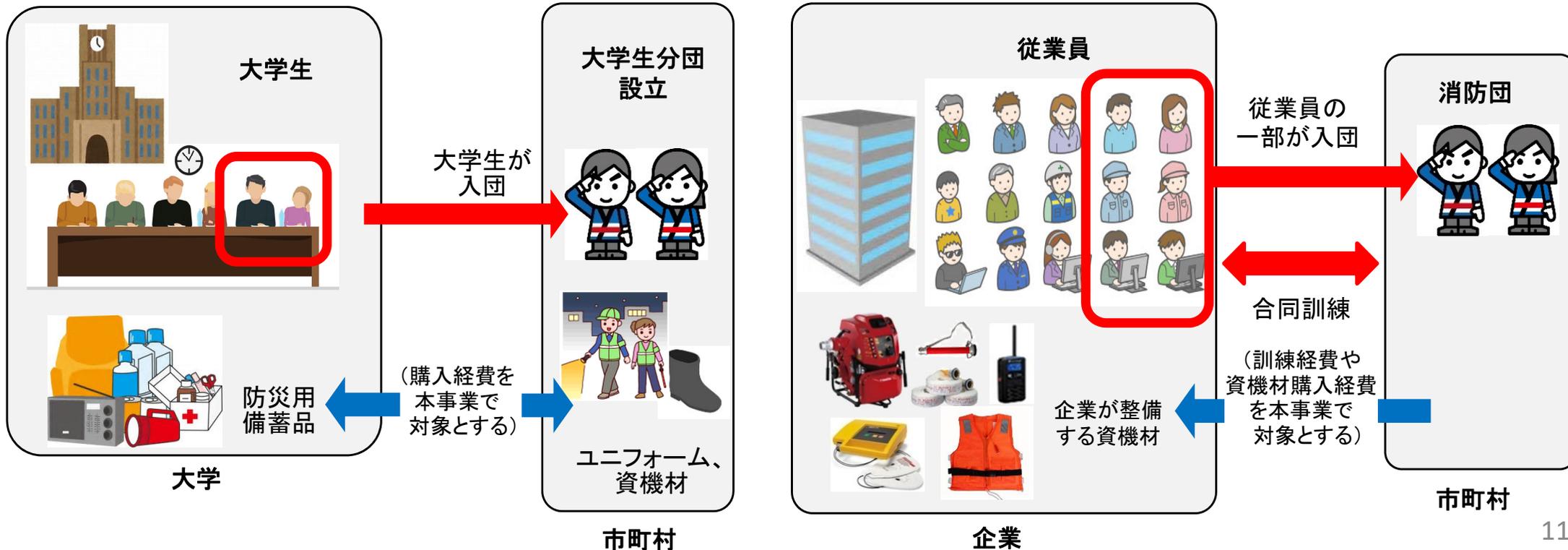
# (参考) 企業・大学等との連携による女性・若者等消防団加入促進支援事業

## 【趣旨及び事業内容】

事業所の従業員、大学の学生が入団することを前提に、都道府県や市町村が、地域の企業や大学と連携して消防団員を確保する取組を支援し、新規分団の設立や訓練に要する経費等を事業対象経費として支援する。



## (事業の取組イメージ)



# (参考) 消防団応援の店

## 全国消防団応援の店について

R3.5 日本消防協会

### ◇ 消防団応援の店とは

- (1) 消防団応援の店は、地域から消防団員に感謝の気持ちを表すものとして、地域のために献身的に活動する消防団員及びその家族に対して、割引などの一定サービスを提供する店舗をいうもので、地域の理解の下に自発的・自主的に協力を頂いて進められている取組みである。
- (2) 消防団応援の店は、ここ数年全国各地で急速な広がりを見せていることから、日本消防協会としては、地域で実施している消防団応援の店を、全国の消防団員が相互に利用できるよう「全国消防団応援の店」への発展させる取組みを進めている。

### (5) 「全国消防団応援の店」の利用方法

全国消防団応援の店は、消防団応援の店からのご要望を踏まえ、市町村が発行する消防団員証などを提示することにより、利用することができる。

### ◇ 全国消防団応援の店について

#### (1) 全国消防団応援の店の登録の開始

日本消防協会では、「全国消防団応援の店」の登録を、平成28年7月から始めた。

#### (2) 「全国消防団応援の店」ホームページの開設

消防団員の利用を進めるため、市町村ごとに「全国消防団応援の店」の名前や業務形、所在地、電話番号、サービスの内容等を分かりやすく掲載したリストを公開するホームページを開設した。

#### (3) 表示証の掲出

全国消防団応援の店として登録した店舗には、日本消防協会で作成した統一の表示証を無償(当面)で提供している。

<表示証のデザイン(A5版、塩ビ製)>



#### (4) 「全国消防団応援の店」の登録状況 (R3.5.11 現在)

令和3年5月11日現在

都道府県	市町村数	店舗数	都道府県	市町村数	店舗数
1 北海道	67	434	16 兵庫県	6	84
2 青森県	1	10	17 京都府	19	193
3 山形県	1	28	18 三重県	26	697
4 福島県	1	23	19 鳥取県	6	55
5 東京都	26	63	20 鳥取県	9	25
6 神奈川県	3	58	21 山口県	1	9
7 栃木県	1	43	22 徳島県	19	189
8 群馬県	23	194	23 愛媛県	19	299
9 愛知県	80	686	24 福岡県	2	122
10 岐阜県	1	3	25 佐賀県	13	58
11 静岡県	1	17	26 長崎県	12	71
12 富山県	4	159	27 宮崎県	2	8
13 石川県	14	352	28 鹿児島県	4	443
14 福井県	12	50			
15 新潟県	27	433	合計	370	4,796

### 「全国消防団応援の店」で提供されるサービスの具体例

業種	サービス内容
食堂・レストラン	ドリンクサービス、飲食料割引、お子様ドリンクバー無料
ホテル、旅館、民宿	利用料金割引、宿泊者の岩盤浴無料、夕食メニュー1品追加 etc.
飲食	カラオケ高得点でビール1杯サービス、飲み放題歌い放題割引、誕生日サービス、生ビール1杯サービス、付きだしサービス etc.
お菓子屋	割引、お菓子プレゼント etc.
衣料品、物販	ポイントアップ、割引、スタンプ2倍 etc.
美容・健康	ヘッドスパサービス、カット10%引き、初診料無料 etc.
自動車整備	オイル交換工賃サービス、エンジンオイル割引 etc.
金融機関	ローン金利引き下げ
美術館・博物館・記念館	入館料・観覧料割引
介護・福祉・子育て	カウンセリング料金割引、入園料免除
スポーツ施設	入会料割引、レッスン料割引
道の駅	アイスクリームサービス etc.

# (参考) おはよう！ニッポン全国消防団（ラジオ番組）

- 「おはよう！ニッポン全国消防団」は、消防応援団※の協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうために、日本消防協会が平成18年4月から15年以上にわたって提供しているラジオ番組。

※「消防応援団」とは

一般の方々に消防団の活動の様子やその大事さを知っていただき、かつ、消防団員の皆さんへ力強い激励をしていただくために、芸能界、スポーツ界等の著名なの方々により、平成17年に結成された組織。

- 番組では、消防応援団の方による、実際の消防団員へのインタビューの様態などを取り上げ、リスナーが、消防団を身近に感じられる内容となっている。
- 放送は、毎週日曜日の朝（一部放送局では毎週土曜日）で、ニッポン放送をキー局とする全国30局ネット。

おはよう！ニッポン全国消防団 ゲスト応援団一覧

平成30年度		平成31年度/令和元年度		令和2年度	
4月	梅田 彩佳	4月	柏原 芳恵	4月	徳光 和夫
5月	東 貴博	5月	沢田 亜矢子	5月	里崎 智也
6月	浅香 唯	6月	振分親方	6月	増田 明美
7月	山田 邦子	7月	黒江 透修	7月	照英
8月	有森 裕子	8月	ガッツ石松	8月	佐藤 水香
9月	舞の海秀平	9月	浅香 唯	9月	林家たい平
10月	麻木 久仁子	10月	有森 裕子	10月	浅香 唯
11月	松本 明子	11月	舞の海秀平	11月	ガッツ石松
12月	平野 啓子	12月	ジュディ・オング	12月	早見 優
1月	片岡 安祐美	1月	水前寺 清子	1月	蝶野 正洋
2月	松村 邦洋	2月	松本 明子	2月	水前寺 清子
3月	佐藤 水香	3月	ビビる大木	3月	サンドウィッチマン



水前寺清子氏によるラジオ収録の様子  
(日本消防協会提供)

# (参考) 地域防災力の充実強化と消防団～新時代に対応した消防団運営～

消防団の充実強化及び活性化の促進を図るため、消防団運営の活動事例等を冊子にまとめている。

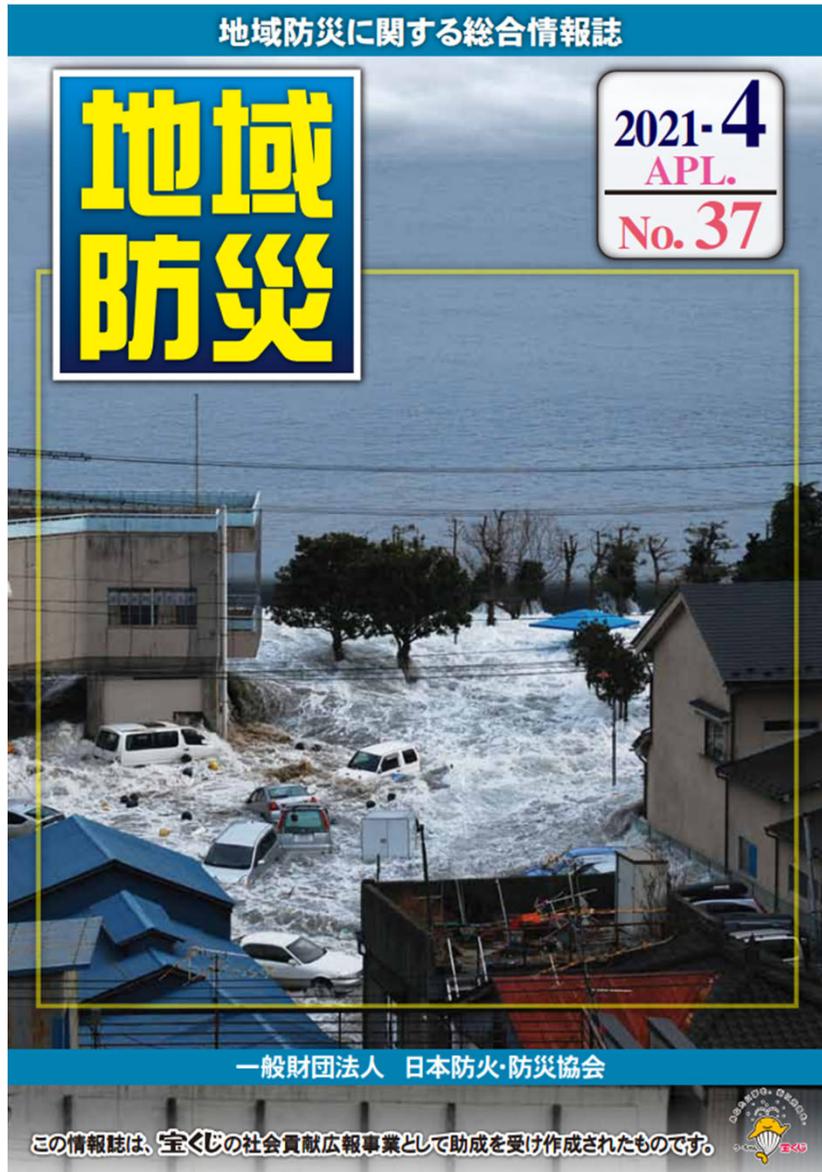


- 消防団の充実強化及び活性化の促進を図るために2006年に創刊。
- 若年層の入団促進・地域への消防団PRならびに機能別団員の採用など、新時代に対応した消防団運営の活動事例等を紹介している。

「2020 地域防災力の充実強化と消防団～新時代に対応した消防団運営～」  
表紙より

# (参考) 地域防災に関する総合情報誌「地域防災」

地域防災に関する総合情報誌に消防団活動に関する記事を掲載することで、消防団活動の紹介を行っている。



- 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」（平成25年12月）の趣旨を実現するために2015年4月に創刊。
- 2021年4月号では佐賀県嬉野市消防団女性部の活動を紹介する記事を掲載。

総合情報誌「地域防災」4月号表紙より

# 消防団の広報に関する論点①

- これまで行ってきた広報により「消防団」そのものの認知は広まってきているが、地方公共団体アンケート結果から「消防団の社会的意義」に係る認知については、必ずしも十分ではないと考えられる。
- 特に消防団の社会的意義の認知に向けて、消防団が災害時に活躍している姿や実績、また消防団のやりがいを中心に消防団自体のイメージアップを図っていくためには、これまでの広報ツールを引き続き活用・強化することが重要である。

## 【参考】岐阜県高山市実施のアンケートに寄せられた消防団に関する市民からの主な意見

- ・ 活動について地域住民に啓蒙していただければもっと協力できたり、身近な活動の手伝いも出来ると思う。日常の活動が余り知られていない気がする。
- ・ 市にとって非常に大切な団体であることから、市民として、応援したいと思います。消防団の皆さんは家庭もありながらの活動に頭が下がります。
- ・ 昔ながらのやり方では、新入団員の獲得は厳しいため、消防団全体で最低限の出役で済ませるなどを勘案し、消防団員の募集に取り組んで頂きたいです。
- ・ 消防団に対するイメージが悪い。火災などの災害時に必要だが無災害時には遊んでいるだけのイメージがある。操法の練習があることで大変で入団を断られるケースが多い。
- ・ 事業所の優遇だけ受けて団活動がやりにくい（活動に出られない）等あると聞いている。地域をあげて活動をバックアップできたらと思う。今は団活動が不透明（何をやっているか地域の人がわからない）なので、PR出来る事を何かやって理解して貰う機会を作ると良い。

## 消防団の広報に関する論点②

- また、消防団員の加入促進のためには、加入しようと思った人が、必要な情報を入手し、加入申請を行うまでのハードルを下げる必要がある。
- 若年層の多くが、インターネットで情報を入手していることを踏まえると、各地方公共団体のウェブサイトにおいて、団・分団の活動内容や、やりがい、処遇等をわかりやすく掲載しておく必要があるのではないか。
- また、ウェブサイトを見て興味を持った人が、そのままオンラインで加入申請ができるような仕組みを設けるのが効果的ではないか。
- なお、消防庁ウェブサイトでは、消防団への入団フローをトップページに掲載したうえで、全国の消防団の概要や連絡先等を記載した「あなたの街の消防団」というページにアクセスしやすいような構成としている。

# (参考) 消防団へのオンライン入団申込みの例 (東京消防庁)

## 東京消防団エントリーシートの導入

スマートフォンなどのインターネット環境を通じて、時間を気にせず、いつでも簡単に入団へのエントリー

## 入団手続きまでの流れ

### 入団希望者



スマートフォン、パソコンなど

### 特別区消防団HP



- ・申請日
- ・エントリー目的
- ・氏名
- ・生年月日 (年齢)
- ・入団条件
- ・住所
- ・電話番号
- ・メールアドレス など

### 消防署から入団希望者 へ電話連絡



### 分団長

- ・入団希望者へ電話連絡
- ・個人面談の実施
- ・消防団の説明
- ・入団手続の説明 など

# (参考) 消防団へのオンライン入団申込みの例 (東京消防庁)

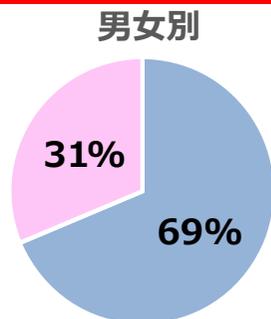
## 東京消防団エントリーシート分析結果

令和2年10月1日から運用開始

令和3年3月31日までの登録件数131件、入団手続き中96件 **入団率73.2%**

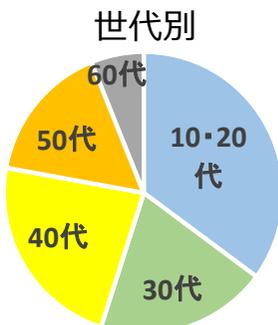
### 1 登録者性別

男性 90名  
女性 41名



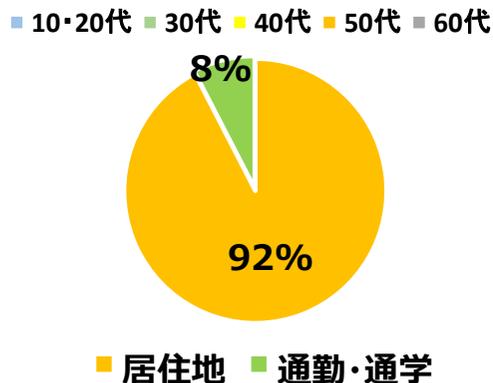
### 2 世代別

10・20代 46件  
30代 26件  
40代 30件  
50代 21件  
60代 8件

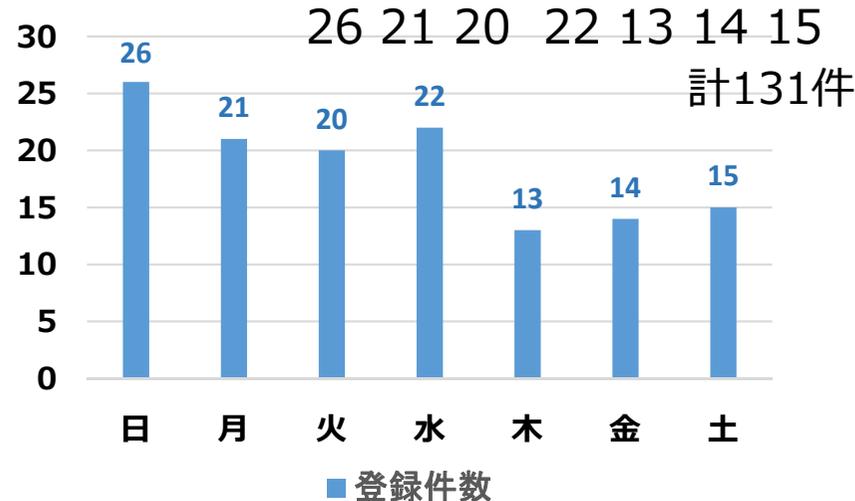


### 3 活動形態

居住地 121名  
勤務・通学 10名

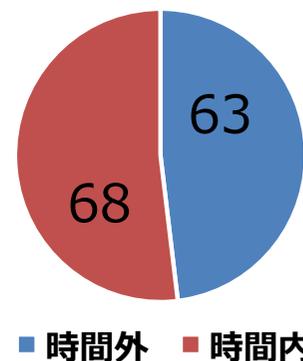


### 4 登録曜日 日 月 火 水 木 金 土



### 5 時間外(17時00分～翌9時00分)

時間外登録63件→入団手続き44件



## 消防団の広報に関する論点③

- 他方、消防団を未来につなげていくためには、若年層の消防団への加入が必要であることを鑑みれば、若年層への広報として、10代・20代の9割以上※が使用するSNSを用いた広報も行うことが重要であると考えられる。
  - ※ 総務省が実施した令和元年通信利用動向調査（令和2年5月29日公表）によると、10代・20代のうちLINE、Facebook、Twitterなど主なSNSのうちひとつでも利用している者の割合が90%を超えている。
- SNSは、広告媒体を用いた一方通行的な広報ではなく、双方向かつ直接的に相手方に情報を届けることができ、消防団の活動を認知又は入団に興味をいただいている方へ直接的かつ丁寧に、入団を促すには適した広報手段といえる。
- 特に、これまでの広報により消防団自体の認知が進んでいる状況で、消防庁をはじめとする公的機関が行うSNS上の広報を契機に、SNS上で実際の消防団員が消防団に入ってよかったこと等の“生の声”が自発的に発信されれば、さらに入団を検討する方が増えるという相乗効果を期待することができる。

## 消防団の広報に関する論点④

- 一方で、SNSは、肯定的な情報だけでなく、否定的な情報も発信することができる、いわば諸刃の剣の側面を持つ。
- 実際にTwitterで「消防団」・「操法」と検索すると、行政機関・消防団が発信する情報以外は、否定的なつぶやきが多くなっている。
- 現在の若年層の価値観にそぐわない消防団活動を続けている場合、このような消防団活動の負の側面が大きく取り沙汰される可能性がある。
- 広報の充実の前提として、資料3で述べたように、まずは消防団自身のあり方を見直すことも必須と考えるがどうか。